

世界

綿花見通

世界の綿花価格が下降の見通し---2011/12年度

国際綿花諮問委員会（ICAC）によると、2010/11年度の世界の綿花価格は前年平均の2倍近いポンド当たり1.64ドルを記録したが、2011/12年度の世界の綿花価格は、生産拡大から在庫の補充が進み、下降する見通しである。

2011/12年度の世界の綿花生産は、前年度の綿花価格の高まりを受けて、前年比8%増の2,690万トンとなる見通しである。米国を除く主要生産国で生産が拡大し、また、インド及びオーストラリアでは記録的な生産高となる可能性がある。米国では作付面積の大幅拡大にもかかわらず、Texas州の干ばつ被害により、耕作放棄の増加に加え、イールド（単位面積当たりの収穫高）が若干の上昇にとどまることから、米国の綿花生産は、前年比12%減の350万トンと予想されている。

世界の経済成長が予想通りであれば、生産が増加し2011/12年度の世界のミル消費は回復する見通し。ただし、依然高値の綿花価格や化繊との競合により、前年比2%増の2,500万トンと微増にとどまると見られる。

生産が消費を180万トンほど上回るため、2011/12年度の期末在庫は前年比20%増の1,090万トンとなる見通し。2011/12年度の世界の在庫率（在庫/消費）は前年度の37%から43%まで回復する見通しである。

世界の綿花需給見通し

(100万トン)

	2009/10	2010/11	2011/12
生産	22.0	25.0	26.9
消費	25.2	24.5	25.0
輸出	7.8	7.6	8.0
期末在庫	8.5	9.0	10.9
価格*	0.78	1.64	

*Cotlook A インデックス（ドル/ポンド）

インド

業績

Reliance、過去最高業績---2011/4-6月期

大手石化メーカーのReliance Industriesは2011年4～6月期の業績を発表した。売上高が前年同期比37.2%増の187億ドル、営業利益が同6.3%増の22億ドル、純利益が同16.7%増の13億ドルの増収増益となり、四半期ベースで過去最高となったことを明らかにした。輸出額も同57.5%増の

116億ドルに急増した。同社の好調な業績は石油精製事業及び石油化学部門が牽引しており、売上増（37.2%増）のうち、数量ベースでの寄与度が4.5%に対して、金額ベースでの寄与度が32.7%と、今期の売上増は、市況の上昇が大きく貢献している。

石油化学部門の売上高は前年同期比32.1%増の41億ドル、EBIT（利払い前の税引前当期利益）は同8%増となった。石油化学部門の主要製品の生産高は、ポリマー（ポリエチレン、ポリプロピレン、PVCなど）が同17%増の110万ト、繊維原料（パラキシレン、PTA、MEGなど）が同12%増の120万トと増加した。一方で、ポリエステル製品（POY、ポリエステル短繊維、PETなど）の生産は、特殊ポリエステル製品を重視する若干のプロダクト・ミックスを行ったことから、41.1万トの微減となった。

同社によると、ポリエステル製品の国内需要は、価格の乱高下、川中、川下産業での労働力・電力不足などを背景に、前年同期比5%減であった。同社は、今後ポリエステルの国内需要は回復すると見ている。

小 売 **外資系企業の参入、規制緩和へ一歩前進**

インド政府は、外資系企業の小売分野への進出に関して、出資比率の上限（51%）を引き上げ100%出資の子会社の設立を認め、単一ブランドではなく複数のブランドを扱うことができるマルチブランド小売店の設立を原則認めた。

ただし、地元メディアによると、今後もインド商工省の承認、さらに閣議決定が必要であり、Wal-MartやCarrefour、Tescoのような世界的小売メーカーの参入には時間がかかりそうである。

現在インドでは、Marks and Spencerのようにインド企業と合併会社を設立し、出資比率が51%以下の単一ブランド小売店に限り、外資系企業による小売業参入を認められている。しかしながら、卸売店では100%出資での参入が認められており、Wal-MartがBharti Retailと提携し、キャッシュ・アンド・キャリー型卸売店を運営しているほか、Metroも卸売店を6店舗経営、Tescoもキャッシュ・アンド・キャリー型卸売店の経営でTataと契約を結んでいる。

インドでは規制緩和を進め外資参入を進めるか否かの論争が長年にわたり繰り返されてきた。2009年には、財務省が規制緩和を支持する報告書をまとめている。政府の諮問機関もまた今年初めに、インフレ抑制や出荷価格と小売価格の価格差引き下げを理由に、規制緩和を支持した。